



「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。スマホで読み取ったりパソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

### ～綱引きや相撲など～ 市内各地で十五夜行事

旧暦8月15日の十五夜には、日本全国で中秋の名月を祀る行事が行われています。鹿児島県内では綱引きや相撲などが昔から行われ、中でも南薩地域では綱を茅で練り、茅の束の帽子をかぶったり、綱で土俵を作って相撲を取ったりなど、特色のある行事が行われることから、枕崎市、南さつま市坊津町、南九州市知覧町の十五夜行事が「南薩摩の十五夜行事」として国の無形民俗文化財に指定されています。



大塚公民館では大人が白装束で十五夜唄を唄う  
(写真は白装束の大人対子供の綱引き)

枕崎市市内では今年も9月17日を中心に、24の公民館で十五夜行事が行われました。ほとんどの地域がロープで綱引きを行いました。西白沢公民館では大人と子供が一緒にワラとカズラで綱練りを行い、子供用の綱を作りました。それぞれの地域では綱引きの前に「愛宕(あたご)参り」の十五夜唄を唄ったり、相撲や踊りなども行われました。綱引きでは地域の人々が総出で綱を引っ張って盛り上がり、楽しく伝統をつなぐ十五夜行事になりました。



塩屋公民館では綱引きのあと相撲を取る

桜山小学校では9月4日に5年生約20人が花渡川で石倉調査の体験学習をしました。「石倉」とは、ウナギが石の隙間などに身を潜める習性を利用した伝統的な「石倉漁」のかごで、100個程度の石を網の中に積んで入れてあります。鹿児島県水産技術開発センターが花渡川のウナギやその他の水生生物の調査を行うために設置しているものです。

### ～ふるさとの川“花渡川”で 石倉調査の体験学習～ 桜山小学校

当日は県水産技術開発センター、九州大学の望岡教授、市水産商工課の方々などの御協力をいただき、水流公民館で望岡教授のウナギのお話を聞いた後、実際に花渡川へ入って石倉調査を行いました。台風の直後だったので、生き物がいるか心配していましたが、天然のオオウナギがかかっていました！他にも、カニやエビ、魚もたくさんかかっており、子供たちは大興奮！



花渡川にもオオウナギがいた

ウナギの赤ちゃんもいました！ペットボトルの水槽に入れて、生き物を観察し、オオウナギも触ってみることができました。たくさんの生き物がふるさとの川でいつまでも生息できるように、きれいな花渡川を守っていきたくです。



石倉から石を取り除いているところ  
(魚が逃げぬよう底面と側面に目の細かい網を仕込んでいる)

### ～宮沢賢治を音楽で楽しむおはなし会～ 「どんぐりと山猫」 枕崎市立図書館

枕崎市立図書館で「宮沢賢治の世界を音楽で楽しむおはなし会」が、8月27日に行われ、長野幼稚園の学童の子供たちなど50人が参加し、音楽劇で「どんぐりと山猫」を楽しみました。



どんぐりのお面を作って音楽劇に参加



みんなで歌って大盛り上がり

このおはなし会は、俳優でシンガーソングライターの南谷朝子さんが全国で行っている「絵本仕掛けの音楽会」を上演したもので、市立図書館では4回目の公演になります。「どんぐりと山猫」の上演前には、子供たちがどんぐりのお面に色を付け、お面をかぶってどんぐりになって音楽劇に参加しました。南谷さんがお話を読んでいき、子供たちと一緒に歌ったりしていると、リアルな山猫が登場して大騒ぎに。最後は南谷さんがギターを演奏し、みんなで歌って大盛り上がりでした。

### ～ふれあい交流グラウンドゴルフ大会 世代をこえて好プレー～ 別府校区

別府校区の恒例行事である「ふれあい交流グラウンドゴルフ大会」が8月17日に別府小で開催されました。小学生と保護者、校区老人クラブ・高齢者学級の方々50名が参加し、個人・団体の優勝を目指してプレーしました。

今年で23回目の大会で、小学生は2年から6年までの参加があり、低学年は育成者が同行してのプレーでしたが、チームに分かれて高齢者からボールの打ち方を教わりながらプレーしていました。



子供から高齢者まで笑顔でプレー

和やかな雰囲気の中、珍プレーやホールインワンなどの好プレーも見られ、みんなの笑顔があふれるすてきなグラウンドゴルフ大会となりました。



狙え！ホールインワン

### ～まくらざき 海の生き物の話 in 鹿水高～ 枕崎地区公民館

枕崎地区公民館の青少年講座「まくらざき海の生き物の話」が、7月30日に鹿児島水産高校で行われ、小学生15人が参加しました。今年もマイクロバスに乗って別府の水産高校に行き、最初に、栽培工学科の町頭先生から「まくらざきの海の生き物」の話があり、「海で遊ぶ時の注意点や大人と一緒に楽しい磯遊びをしよう」との説明がありました。水産高校3年生9人が講座の補佐役をしていただき、実技講習では、溺れた人を助けるためのペットボトルとロープの投げ方などの体験活動も行いました。



チョウザメと触れ合う子供たち

その後、校内で養殖しているチョウザメやヒラメなどの魚の見学も行いましたが、子供たちは案内役の高校生のお兄さんたちとの交流も嬉しそうでした。



「海の生き物」の話を熱心に聞く